

様式1（視察用）

## 会派行政視察報告書

平成26年度会派 公明名取 の行政視察研修を、平成26年7月28日(月)から7月30日(水)までの 2泊 3日にて執り行いましたので、その概要を下記のとおり報告いたします。

平成26年 8月 4日

名取市議会議長 山 口 實 様

会派名 公明名取  
代表 菊 地 忍



### 記

1 期 日 平成26年 7月28日(月)～ 7月30日(水)

2 参加人員 2 名 (氏名) 菊 地 忍  
星 居 敬 子

3 視 察 先 (1) 秋田県大仙市  
(2) 岩手県滝沢市  
(3) 青森県むつ市

4 行 程 表 別紙のとおり

5 調 査 事 項 別紙のとおり

6 所 感 別紙のとおり

# 「公明名取」会派視察行程表

平成26年7月28～30日

7/28	<p>JR常磐線 仙台駅 10:08</p> <p>秋田新幹線 こまち7号 大曲駅 11:55</p>	<p>秋田県大仙市 視察 13:30～15:30 〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1-1 TEL 0187(63)1111 内線304 議事事務局 佐藤様</p> <p>宿泊先 ホテルルートイン大曲駅前 〒014-0027 秋田県大仙市大曲通町3-14 TEL 0187(86)3511</p>
7/29	<p>秋田新幹線 こまち12号 盛岡駅 9:46</p> <p>東北新幹線 はやぶさ19号 八戸駅 15:04</p> <p>青い森鉄道 快速しもきた・大湊行 下北駅 16:45</p> <p>タクシーにて滝沢市役所へ</p> <p>盛岡駅 14:37</p>	<p>岩手県滝沢市 視察 10:00～12:00 〒020-0692 岩手県滝沢市中鶴飼55 TEL 019(684)2111 議事事務局 高橋様</p> <p>宿泊先 プラザホテルむつ 〒035-0001 青森県むつ市下北町2-46 TEL 0175(23)7111</p>
7/30	<p>青い森鉄道 快速しもきた 野辺地駅 15:06</p> <p>JR大湊線 下北駅 14:09</p> <p>JR東北本線 名取駅 17:56</p> <p>東北新幹線 はやぶさ26号 八戸駅 15:53</p> <p>仙台駅 17:29</p>	<p>青森県むつ市 視察 10:00～12:00 〒035-8686 青森県むつ市中央1-8-1 TEL 0175(22)2463 議事事務局 佐藤様</p>

## 秋田県大仙市

1 視察実施日 平成26年7月28日 午後1時30分～3時30分

2 視察場所 大仙市役所

### 3 視察内容

#### 〈自治体概要〉

人口 87,030人（平成26年6月末現在）

面積 866.67Km<sup>2</sup>

大仙市は、秋田県南の内陸部に位置しており、平成17年3月22日に大曲市、神岡町、西仙北町、中仙町、協和町、南外村、仙北町、太田町の1市6町1村が合併して誕生し、東は仙北市や岩手県と、南は横手市・美郷町と、西は由利本荘市と、北は秋田市とそれぞれ接している。

古くから県南の交通の要衝であり、現在でも秋田新幹線や秋田自動車道等陸路・鉄道の結節点として拠点機能の強化が進んでいるため、県の8地方の一つである仙北地方の中心として国や県のような機関が設置されている。

#### 〈調査事項概要〉

##### 1 ゼロ予算事業について

説明者：大仙市企画部次長兼総合政策課長 相馬 幸則氏  
総合政策課 参事 高橋 正人氏  
総合政策課政策調整班 佐々木 英樹氏

##### 1 事業実施に至る背景について

自治体を取り巻く財政状況は厳しく、新たな予算を伴う事業の実施が難しくなっている。その一方で、情報化や国際化の進展などから価値観が多様化し、市民ニーズもまた多様化している。

こうした状況の中で、新たな予算措置をすることなく、職員一人ひとりの積極的な創意工夫や新しい発想のもと、技術・知識、資産、情報等最大限の活用や市民との協働・連携など多様な手段を用いることにより、市民サービスの向上を図る取り組みとして「ゼロ予算事業」を実施しているもので、平成19年度よりスタートした。

## 2事業内容について

### 対象となる事業の要件

#### ①予算措置を伴わない事業であること

職員の人件費や消耗品費などを除き、特別な事業予算を計上することなく実施できる事業

※市として支出はないものの、共催等の他の実施主体が費用を負担して事業を実施している場合は対象外

#### ②市民に向けた事業であること

市民サービスの一層の向上を目指すものであるため、庁内の内部向けではなく、市民向けの事業あるいは市民との協働・連携事業が対象

#### ③通常業務とは区別できる事業であること

職員の創意工夫により既存の設備や人材を有効に活用し、本来業務から一歩前に出る取り組みを対象とする

### 事業の公表

各課から提出された事業計画書及び実績報告書を取りまとめ、記者会見やホームページ掲載により、市民に公表している。

## 3事業の実績について

### 実施事業の推移

平成19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
35件	50件	53件	47件	35件	34件	35件	31件

### 主な実施事業

#### ○豪雪時職員除排雪応援事業(除雪デー) [総合防災課]

「除雪デー」を設定し、市職員・事業所・市民が協力して人通りの多い歩道や交差点の置き雪を人力で除雪

#### ○大仙市さくらマップ事業 [総合政策課]

職員や市民から桜の生息地や開花状況に関する情報を提供いただき、市ホームページ上で公開

#### ○カワセミ観察会 [総合政策課]

日本野鳥の会会員の協力を得て、市の鳥であるカワセミの観察会を実施

#### ○男女共同参画出前講座 [男女共同参画・交流推進課]

市内団体(幼稚園・保育所、高校、PTA、自治会など)や事業所を対象に、それぞれの要望に合わせた内容とスタイルで出前講座を実施

○鮭稚魚の成長観察 [農林振興課]

市営水産ふ化場にて受精させた鮭の卵を、希望する市内小学校へ配布し、ふ化の瞬間とその後の成長観察や給餌等の作業、放流の体験など

○野菜なんでも相談会 [農林振興課、西部新規就農者研修施設]

野菜栽培で不明なことや、日頃疑問に思っていることについて相談を受けるとともに、研修施設で栽培している作物を見ながらの栽培指導も実施

○大仙市オリジナル名刺 [企業対策課]

市内印刷業者の協力を得て、「私は秋田県大仙市を応援しています」などの一文とともに市の位置図、概要、観光名所などを写真、イラストで紹介するフルカラー見開きの名刺の台紙を作成

○雪下ろし技能講習会 [企業対策課]

屋根の雪下ろしに関する正しい知識普及による事故の未然防止を目的に、座学及び実技講習を実施。建設技能組合や消防本部などとの共同

○学力レベルアップ事業 [太田公民館]

ボランティアの協力のもと、児童生徒が夏季・冬季の長期休業中に自分で持参したドリルや作文などの課題に取り組む学習会などを実施

○学校図書館支援事業 [総合図書館]

司書資格のある図書館職員が学校を訪問し、図書担当教諭等からの相談に応じて学校図書館の蔵書内容や環境整備へのアドバイス等を実施

○旧池田氏庭園での結婚記念・金婚式記念写真撮影応援事業 [文化財保護課]

国指定名勝旧池田氏庭園の一般公開期間(初夏、秋季)中、庭園や洋館周辺での記念撮影を実施

4 今後の課題や取り組みについて

平成19年度の事業開始から8年目を迎え、事業の定着や好評を得ているものもあり、市民にゼロ予算事業が浸透してきている。

一方で参加者が少ないなど周知不足と思われる事業や、事業の提案部署に偏りがあるなどの課題が見られる。

今後、提案部署の拡大(新規事業への取り組み)、事業内容の工夫・改善、一層の市民への周知などに努めたい。

## 5 質疑応答

Q: ゼロ予算事業の提案はどこからあったのか

A: それまでも行ってきたが、平成19年度から明確化した市長からの指示である

Q: 住民参加は多いのか

A: 地域のつながりが強いため多いのではないかと

Q: 地域により参加者の偏りはあるのか

A: 多少はある

Q: さくらマップの効果は

A: ホームページへのアクセスは増えている

Q: ゼロ予算事業で市民からの提案はあるのか

A: 基本は職員からの提案である

## 〈考察〉

大仙市では、これまでもボランティアによる事業実施など市民との協働による取り組みが行われていた。また合併により市域は広大になったが決して財政状況はよくなかった。

そこで新たな予算措置を伴わず、職員のアイデアによる市民サービス向上の取り組みとしてゼロ予算事業を実施しているが、事業内容を見ると、本市でも取り組んでいる事業も見受けられた。

ゼロ予算事業の中で取り組まれている「学力レベルアップ事業」は全国的にも有名であり視察も多い事業である。このように多くの成果を上げている事業もあることは提案した職員にとっても誇りとなることである。

本市でも職員提案制度や市民との協働事業の募集など取り組んではいるが、決して提案が多いものとはなっていない。予算がないと事業ができないわけではなく、職員のやる気を引き出す大仙市の取り組みを参考にしたい。

## 岩手県滝沢市

1 視察実施日 平成26年7月29日 午前10時00分～12時00分

2 視察場所 滝沢市役所

3 視察内容

### 〈自治体概要〉

人口 55, 227人 (平成26年6月末現在)

面積 182. 32Km<sup>2</sup>

滝沢市は、盛岡市の北西部に位置し、市役所のある中心部は盛岡市の中心街から8kmの距離であることもありベッドタウンとして人口も増加し平成12年に人口が5万人を達成し人口日本一の村となった。

気候は内陸性気候であり、稲、野菜、酪農等を主体とした都市近郊農業地帯である。

滝沢市は、平成26年1月1日に「人口日本一の村」から「住民自治日本一の市」を目指し誕生し、地域住民と行政が両輪となつての協働による市政運営やまちづくりに取り組んでいる。

### 〈調査事項概要〉

1 高齢者福祉事業(いきいきサロン・いきいきクラブ)について

説明者: 滝沢市健康福祉部高齢者支援課 課長 小川 亨氏

主任保険師 佐々木 悠美氏

1 事業実施に至る背景について

いきいきサロンは、介護保険法における介護予防を目的とした地域支援事業の地域介護予防活動支援事業(地域住民グループ支援事業)に位置付けられる。

現在は、滝沢市地域住民グループ(いきいきサロン)支援事業実施要綱に基づき、市が自治会等に委託し実施している。

2 事業の目的や内容について

事業の目的

地域において、集いの場を提供することにより、閉じこもりや機能低下を防止し、介護予防を推進することを目的としている

## 事業の内容

地域全体を対象とした事業であることから自治会との委託契約を基本としている

会場: 既存の集会施設など高齢者が集まりやすい会場

開催回数: 月1日以上、1回あたり2時間以上の開設が必要

## 3事業の実績と経費について

いきいきサロン・いきいきクラブ開催状況

サロン29か所、クラブ3か所

委託料 2,488,902円

内訳

開設回数	月1回	月額	2,000円
	月2回	月額	4,000円
	月3回	月額	6,000円
	週1回	月額	8,000円
	週2回	月額	16,000円
	週3回以上	月額	24,000円

参加人数	20人未満	月額	0円
	20~24人	月額	1,000円
	25~29人	月額	2,000円
	30人以上	月額	3,000円

## 4今後の課題や取り組みについて

30自治会中サロンを開設しているのは28である

未開設の自治会は高齢者が少ない地域であるが、今後は増えていくことが予想される

## 5質疑応答

Q: 事業のきっかけは

A: 平成13年度から保健師による定期訪問を行っていた

Q: 自治会の負担にはなっていないのか

A: 年に1回説明会を開催し、市の考えを説明するとともに自治会からの要望を伺っている



Q:クラブとサロンの違いは

A:サロンは月1回以上の開催が条件となっている  
隔月や不定期の開催はクラブとしている

Q:保健師の人数は

A:15名である

Q:委託料の使い道に制限はあるのか

A:特にない

Q:公民館事業と競合しないのか

A:公民館でのサロン開催は3か所のみである

#### 〈考察〉

滝沢市のいきいきサロンは地域に密着した取り組みである。自治会の数も本市と違い少ないこともあるが、年1回開催する説明会で丁寧に事業について紹介することで自治会の協力が得られていると感じた。

本市のいきいきサロンと生きがいづくり支援事業も実施か所数が増えない現状を考えれば見直しも必要である。

滝沢市のようにほぼすべての自治会にて事業を実施することは難しいことではあるが、高齢化の進展を考えれば地域により協力を得られる内容とするべきである。

## 青森県むつ市

1 視察実施日 平成26年7月30日 午前10時00分～12時00分

2 視察場所 むつ市役所

### 3 視察内容

#### 〈自治体概要〉

人口 61,761人（平成26年7月末現在）

面積 863.79Km<sup>2</sup>

むつ市は、本州最北端、青森県北東部の下北半島に位置し、南北約 35 キロメートル、東西約 55 キロメートルにわたっており、東に東通村、南に横浜町、北・西に大間町、風間浦村、佐井村の 2 町 3 村に接している。

また、むつ市は三方を海に面しており、北は津軽海峡を隔てて北海道を望み、西に平館海峡、南に陸奥湾を抱えている。

面積は青森県全体の約 9%にあたる約 864 平方キロメートルで、恐山山系の外輪山を形成する釜臥山を中心とし、東部は平野など比較的なだらかな地形が広がり、北部・西部は自然に溢れ、緑豊かな山地や台地が海岸近くまで迫る山岳地形となっている。

気候は、四季がはっきりとしており、夏季は短く温暖で湿度が低いことから比較的過ごしやすくなっているが、冬季は降雪期間が長く最大積雪が山間部で1メートル以上、平野部や海岸部では約 70 センチメートルに達するなど、厳しい気象条件となる。

一方、むつ市は広範にわたる地域が下北半島国定公園に指定されており、「恐山」、「川内川溪流」などの景勝地や、「湯野川」、「薬研」などの温泉が点在するほか、「陸奥湾のホタテ」、「津軽海峡のイカ」などの海の食材が豊富にあるなど、豊かな自然の恵みを受けた地域となっている。

#### 〈調査事項概要〉

##### 1「40歳のがん検診事業」について

説明者:むつ市保健福祉部副理事健康推進課長事務取扱 赤田 貴生氏  
健康推進課保健グループ医療主幹 木村 公子氏  
健康推進課 保健主任 笠井 恵子氏

##### 1事業実施に至る背景について

むつ市は、県などと比べ、がん検診受診率は低い状況である。そこでがん検診受

診を推進するため、40歳を対象に市で実施している胃がん検診・肺がん検診を無料で受診できるクーポン券を発行している。がん検診受診のきっかけをつくり、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図ることを目的に実施している。

## 2事業内容について

### 検査内容

胃がん検診：胃部レントゲン検査

肺がん検診：胸部レントゲン検査

### 検診料

無料

### 実施時期

平成26年5月22日～11月28日

土曜日や日曜日の開催日あり(7日間)

## 3事業の実績と経費について

### 平成26年度事業費

賃金	看護師	31,000円
需用費	消耗品	34,000円
役務費	郵便料	49,000円
委託料	胃がん検診 @5,400円×180人	972,000円
	肺がん検診 @1,620円×180人	291,600円

合計 1,377,600円

### 事業実績

### 事業開始

40歳受診者数	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
胃がん検診 人	25	19	124	127	142
受診率 %	3.0	2.3	15.3	15.5	16.1
肺がん検診 人	29	27	131	133	140
受診率 %	3.5	3.2	16.2	16.2	15.9

## 4今後の課題や取り組みについて

事業のPR、受診勧奨の強化

健康管理のために継続して受診するように働きかけ

検診受診以外の健康づくり関連事業の周知

## 5 質疑応答

Q: 受診率アップの取り組みは

A: 土日の検診実施、子宮がん・乳がん検診は夜間も実施している

Q: 受診勧奨の取り組みは

A: はがきにより再通知を行っている

Q: がんの発見率は

A: そんなに多くはない

Q: 健康づくりカレンダーはいつから配布しているのか

A: 10年ほど前からである

Q: 受診率の高い自治体の情報は何か持っているのか

A: 健康に関する意識が高いと感じている

## 〈考察〉

むつ市の40歳のがん検診推進事業は、平成23年度からスタートした。その結果、受診者は増えているが目標には達していない。未受診の理由を探り、受診環境をさらに向上させることが必要だと感じた。

本市におけるがん検診受診率も、胃がん検診で19%、肺がん検診で36%と国の目標である50%には遠く及ばない状況である。

むつ市のように40歳を契機に若いうちから健康づくりを意識し実践してもらい取り組みとして本市でも導入するべきである。

## 2「青年期の健康づくり事業」について

説明者:むつ市保健福祉部副理事健康推進課長事務取扱 赤田 貴生氏  
健康推進課保健グループ医療主幹 木村 公子氏  
健康推進課 保健主任 笠井 恵子氏

### 1事業実施に至る背景について

むつ市の健康課題として「肥満」や「運動不足」があげられていた。これらは生活習慣病の大きな要因であり、青年期からの健康管理が重要であることや、若い世代からの健康意識を促し、自分で自分の健康管理ができるよう、平成21年度より20歳～39歳を対象に「ミニ健診」(市単独事業)を実施している。

### 2事業内容について

#### 検査項目

問診、身体測定、腹囲測定、血圧測定、血液検査(空腹時血糖、HbA1c、HDLコレステロール、LDL コレステロール、肝機能)、保健師・栄養士による健康づくりミニ講話、保健師・栄養士・歯科衛生士による個別相談  
※託児あり(希望者のみ)

#### 健診料

無料

#### 定員

200名

むつ地区	80人×2か所
大畑地区	20人×1か所
川内地区	10人×1か所
脇野沢地区	10人×1か所

### 3事業の実績と経費について

#### 平成26年度事業費

賃金	看護師、保育士、歯科衛生士	82,880円
需用費	歯周病検査薬	52,876円
委託料	血液検査 @3,507円×200人	701,400円
	健診データ作成 @5円×200人	1,000円

合計 839,000円

## 事業実績

受診者数	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
男性 人	11	28	16	34	35
受診率 %	13.7	28.3	14.9	23.3	18.4
女性 人	69	71	91	112	155
受診率 %	86.3	71.7	85.1	76.7	81.6
計 人	80	99	107	146	190

### 4今後の課題や取り組みについて

青年期からの健康管理の大切さと健診の活用について、定員増を目指し、各種保険事業等を活用し、PRの強化  
要医療者への受診勧奨及び受診確認の徹底  
健診後のフォローアップの充実  
健康なんでも相談の活用やポピュレーション事業等への参加勧奨

### 5質疑応答

Q:事業実施のきっかけは

A:アンケート調査の結果から若い世代の健康意識の高揚が必要と認められた

Q:仕事により受診できない方もいるのでは

A:日曜日に行っているが仕事で受診できない方もいる

Q:ポピュレーション事業とは

A:運動教室のことであり、年2・3回行っている

Q:定員が10名と20名があるがその理由は

A:むつ地区以外は総合健診と同じ日に行っているためである

### 〈考察〉

むつ市民の傾向として肥満や運動不足があげられていた。平成21年度からスタートした健診の結果でも受診者の約5割に血糖、LDL コレステロール、肝機能で有所見が見られている。若い世代は健康に対する意識が低く、健診を受けることで自分の体について正しく認識することが出来る。そのきっかけをつくるうえでこの事業は有益ものであると感じた。

平成27年度からは特定健診と同様の検査内容とする予定で、さらに拡充されることである。

本市でも若い世代からの健康意識高揚の取り組みが必要である。